**おかやまの農林水産業　５年生　活用例　「岡山県の水産業」**

**１　活用のポイント**

日本の代表的な漁業について教科書で学習したのちに，岡山の漁業について学習してきたこと

との共通点や相違点を比べ，学習を深めることができる。

〇瀬戸内海の豊かな海　　　　　　　　　　　　　　（Ｐ.53～55）

〇牛窓・虫明・小串の漁業にたずさわる人々のくらし（Ｐ.56～62）

〇瀬戸内海のこれからの漁業　　　　　　　　　　　（Ｐ.63～66）

**２　単元計画**

第１時　県内の漁獲量の移り変わりや漁獲金額のグラフを調べ，学習問題をつかむ〈Ｐ53～55〉

学習問題　県内の水産業の様子や漁業にたずさわる人々の工夫や努力について調べよう。

第２時　県内の漁業にたずさわる人々のくらし（とる漁業）について調べてまとめる

〈Ｐ56～59〉　・小型底びきあみ　・小型定置網（つぼあみ）：牛窓　・渡しあみ

**第３時　県内の漁業にたずさわる人々のくらし（育てる漁業）について調べてまとめる**

**〈Ｐ59～62〉　・かきの養しょく：虫明　　のりの養しょく：小串**

第４時　これからの漁業について副読本などで調べ，ノートにまとめる〈Ｐ63～66〉

**３　本時の展開例　第３時　（かきかのりのどちらかを主に扱う）「かきの養殖」の場合**

1. 学習問題を確かめ，前時までの学習を振り返り，本時のめあてを確かめる。

多くの漁獲量をあげているかきやのりは，どのようにして養殖されているのだろうか

1. かきの養殖の仕方について調べ，話し合う。

・「かきが取れるまで」で養殖の順序を理解する（動画を見る）。

・苫田さんの話から人がする仕事と気を遣うことについて理解する。

1. のりの養殖の仕方について調べ，かきとの共通点や相違点を話し合う。

　　　・「のりができるまで」で養殖の順序を理解する（動画を見る）。

　　　・竹内さんの話からのり養殖について理解する。

　　　・かきとのりの養殖の共通点や相違点について話し合う。

1. 本時のまとめをする。

・かき・のりの養殖の仕方についてまとめる。

かきとのりの養殖は，どちらも質のよいものをつくるために，環境を整えたり

細かい作業を丁寧にしたりするなどの努力をしている。

**４　その他**

**・**かき・のりのどちらも動画資料があり，養殖の様子について詳しく知ることができる。

**・**「とる漁業と育てる漁業」で分類しており，これからの漁業を考える上で，教科書に追加の

資料として調べることもできる。